

.....

■事務局から・トピックスなど

◆熱中症にご注意ください。

全国の熱中症患者や熱中症による死者が 5 万人を超えています。暑さはまだまだこれからですが、昨年度の患者数を 7 月の時点で大きく上回ったという報道がなされました。皆様の事業所における熱中症対策を引き続きお願いいたします。

◆西日本豪雨における被災地支援の寄付金

平成 30 年 7 月 12 付で、会員の皆様に呼びかけました西日本豪雨における被災地支援の寄付が平成 30 年 7 月 31 日時点で、239,272 円 (18 団体) 集まっております。一部大口の寄付もあり皆様方のご協力に御礼申し上げます。用途につきましては世話人会で諮り、再度皆様にお伝えいたします。寄付金につきましてはまだ受け付けておりますので、支援のお考えをお持ちの方は、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

尚、今回の被災地支援の経過と内容につきましては、報告としてまとめ、改めて佐賀県や会員の皆様にお知らせ致します。

◆10/28 2/24 一般社団法人地域ケア総合研究所 竹重俊文氏による佐賀での出前寺子屋

経営者向けの地域共生ステーション資質アップ研修として開催予定です。10 月開催はメートプラザになります。詳細が決まり次第お知らせします。

◆佐賀県 自発の地域創生プロジェクト～地域づくりスタートアップ支援事業～

佐賀県の補助事業です。今後の総合事業に備え、地域と協働した取り組みをお考えの方は、内容を確認され検討されてみてはいかがでしょうか。詳細は県の HP からお調べください。

【佐賀県地域共生ステーション連絡会関連】

■第 2 回佐賀県地域共生ステーション資質アップ研修

演題「地域と共に認知症の人を支えましょう!!～これからの認知症ケアと事業者の役割～」

講師：認知症の人と家族の会福岡県支部

公益財団法人さわやか福祉財団インストラクター

副代表 阿部かおり 氏 (NPO 法人たすけあい京築)

場所: メートプラザ佐賀 大会議室

日時: 平成 30 年 8 月 5 日 (日) 9:30 会場 10:00 開演

お申込みはまだできます。また当日は佐賀市の行政や生活支援コーディネーターも参加される予定です。

■地域共生ステーション推進にかかる調査研究の調査票は現在 12 団体届いています。皆様のご協力を。

佐賀県高齢者保健福祉計画・佐賀県介護保険事業支援計画である「第 7 期さがゴールドプラン 21 (30 年 4 月～32 年 3 月)」が策定されています。そのうち主要施策の重点事項として「生活支援サービスの充実」を目的として、以下の地域共生ステーションの支援が謳われています。

抜粋) 認知症やひとり暮らしの高齢者等をはじめ誰もが住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域住民や C S O、ボランティア等が参加・協働し、様々な福祉サービスを提供していく地域福祉の拠点である「地域共生ステーション (宅老所・ぬくもいホーム)」について、以下の支援を行います。

- ・宅老所からぬくもいホームへの転換促進
- ・地域共生ステーションの経営や運営面への地域住民の参画に向けた取組
- ・防災対策など、利用者の安全確保の取組支援
- ・実態を把握した上で、運営面の質の向上についての支援
- ・医療など関係機関との連携強化についての支援

【調査の趣旨】

地域共生ステーションが「生活支援サービスの充実」の担い手の一つとして位置づけられている内容となっています。昨年度行いました調査では、介護保険事業以外に地域貢献事業として、子どもの預かりや居場所づくり、家事支援や移動サービス等の生活支援を、各々の創意工夫で実施している状況が明らかになっています。

こうした地域共生ステーションの取り組みの多くは、地域の生活支援の需要に応じるため、先駆的な取り組みである一方、継続し広げる上での運営費の捻出など、自主努力の限界を感じながら取り組まれている実態も浮き彫りになっています。

今後、地域で益々増加が見込まれる多様な生活支援の需要に対し、地域共生ステーションがその担い手として充実し継続していくためには、これまでの自主努力に合わせ、行政による効果的支援や、新しい総合事業の活用等を含めた持続可能な方策が求められます。

調査は、昨年に引き続き、地域共生ステーション取り組まれている生活支援の実態を調査し、佐賀県による地域共生ステーション支援及び総合事業参画の参考資料として、佐賀県と共有することを目的としています。

調査票は、郵送及びデータで送付いたしましたが、届いていない、又は再度送っていただきたいというところは、ご連絡ください。

■世話人会の開催日は 8月8日(水)13:30～

佐賀県の開設等支援事業のあり方、地域共生交流イベント、西日本豪雨の支援金の使途、宅老所における有料老人ホームの動きなどが主なテーマになります。世話人の皆様には万章繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願いいたします。

■協議体(話し合いの場)に参加しましょう!!

地域共生ステーションの皆様は、地域に密着した事業展開を推し進めておられるところも多いと思います。介護保険の中でも、地域を意識した取り組みが重要視される施策へと変化しつつあります。2025年以降、爆発的に増えると見込まれる生活支援や軽度者の支援に対応できる事業所づくりを今から始めていきましょう。

協議体は県内で少しずつできていきますので、地域共生ステーションが各々の地域の資源になるためにも、積極的な参加をお勧めいたします。

■「介護予防・日常生活支援総合事業」勉強会(予定)

軽度者の対応は、全国一律の介護保険による給付サービスから、市町の事業にシフトする方向で審議されています。今後の制度変化に備え、軽度者を支援する「介護予防・日常生活支援総合事業」の勉強会開催を検討しています。詳細が決まりましたらお知らせいたします。

- (内容) ◆一般介護予防事業(通いの場)
◆通所型サービスB(通いの場)
◆訪問型サービスB(生活支援)
◆訪問型サービスD(移動支援) など

【事業報告】

■7/7 第1回地域共生交流イベント in 鹿島が開催されました。

鹿島市生涯学習センターエイブル大ホールで「皆様と一緒に感じたい! 介護の現場で働くという事・どこで生き切るかという事」をテーマに西部地区の地域共生交流イベントとして、「ケアニン～あなたでよかった」が上映されました。

【地域情報】

■ブロックの動き・情報

※各地域共生ステーションの実践や地域の情報をMMで配信しますので、メールでの情報提供にご協力ください。(fukusinoie@world.ocn.ne.jpまで)

中部ブロック (佐賀市・小城市・多久市・神埼市・江北町・大町町)

◆開設等支援アドバイザー

鹿島市で新規開設するぬくもいホームのアドバイザーとして県庁を訪問(世話人 江口)

◆有償ボランティアで働く食堂を運営 7月たすけあい佐賀が佐賀新聞に掲載されました。

たすけあい佐賀の2カ所の居場所の取組が佐賀新聞に掲載されました。総合事業も視野に入れ地域の交流・介護予防の場として、今後こうした取り組みは注目されていきます。

◆8/26 富士町の福祉を語る会（講演会）

「老後も富士町で暮らしていくために必要なこと」と題し、元厚生労働省審議官で、国民健康保険中央会理事長、佐賀市福祉政策アドバイザーの原勝則氏による講演です。時間は13:30からになります。関心のある方はご参加されてはいかがでしょうか。参加費無料。

◆8/30 平成30年度在宅医療他職種連携推進研修会

福岡県の歯科を有する二次医療機関を中心とした、他職種連携の拠点活動の取組・現状についての講話です。お申込みは下記まで。

開催場所 佐賀県歯科医師会館 1F ホール 開催時間 19:30～21:00

問合せ 佐賀県歯科医師会 在宅歯科医療推進連携室 電話 0952-25-2291

◆在宅ネットさが主催の第12回市民公開講座で「ケアニン」が上映されます。

日時: 平成30年9月2日 場所: アバンセホール

佐賀県地域共生ステーション連絡会でも名義後援に協力しています。

西部ブロック（武雄市・鹿島市・嬉野市・白石町・太良町）

◆7/7 地域共生交流イベント in 鹿島が西部ブロック中心に開催されています。

◆8/26 子どもの居場所に必要な支援を考える意見交換会

「はじめての子どもの居場所開設～どうする？何に気をつける？～」と題した事例発表・情報提供・意見交換が開催されます。場所は、道の駅太良たらふく館横、ゆたたり館。時間は13時からとなっています。参加費無料。申込はさが・こども未来応援プロジェクト実行委員会。電話 090-9482-4434。

◆西部ブロック地域共生ステーション連絡会定例会・研修会

9/19 研修会「介護事例検討」 研修担当/ゆたたり・ひなた 場所/楠風館

時間 定例会 18:00～ 研修会 19:00～ ※ご参加ください。

北部ブロック（唐津市・伊万里市・有田町）

東部ブロック（鳥栖市・みやき町・吉野ヶ里町・上峰町・基山町）

◆7/29 NPO 法人とさくさんに共同通信社の取材

地域共生社会の実践現場として、連絡会を経由し共同通信社の記者の方が、とさんさんの活動を取材されています。

■地域共生ステーション推進事業要綱について

平成29年4月からの「佐賀県地域共生ステーション推進事業」の要綱が佐賀県のホームページに掲載されています。

ポイントは地域共生社会実現に向け、ぬくもいホームの推進及び転換といったもの。ぬくもいホーム本体事業のサテライトとして地域住民交流の拠点づくりへの開設補助が設けられたことも新しい試みとなっています。

30年以降に新設される「共生型サービス」や、今後進んでいく「住民主体の総合事業」といったものは、宅老所やぬくもいホームで長らく温めてきたものといえると思いますが、ようやく制度が後追いで追いついてきた表れでもあります。

具体的な共生の取り組みが今後求められるものとして、積極的な活用をご検討ください。

★会員の皆様には、これにあわせ、地域の「居場所づくり」にチャレンジしていきましょう。

総合事業でいえば、一般介護予防事業「地域介護予防活動支援事業」ということになります。まだ県内で位置づけられていませんが、実績づくりという視点ではじめていきましょう。

.....

【さが福祉移動サービス・ネットワーク関連】

■事務局から・トピックスなど

今後の移動サービス全般の動きについて次回からの掲載になります。

■次回の移動サービス認定運転者講習(8月11、12日決定！！)

受講者を募集いたします。お申込みはお早目をお願いいたします。デイサービス送迎者の運転スキルアップにもなりますので、有償運送事業者以外の受講も可能です。

◆場所：認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家会議室
(佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F)

◆電話：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

「移動サービス認定運転者講習」 移動サービスをはじめませんか！！

移動サービス認定運転者講習会(福祉有償運送大臣認定講習)をさが福祉移動サービスネットワーク主催で開催しています。福祉有償運送実施団体の方はもとより、デイサービスの安全運転のスキルアップ、また、今後、総合事業がはじまり生活支援の中の移動支援に関心を寄せていただく上でも受講をお勧めしています。

「さが福祉移動サービス・ネットワーク(ふくしの家0952-36-6865 又は、ふくしの家HPから申込み用紙をダウンロード)にお申込みください。

総合事業においても移動支援である「訪問D」をどう位置付けるか今後大きなテーマになります。移動サービスの理解を深めていきましょう。

申込書ダウンロード <http://www.fukushinoie.jp/>

■9/26・27(鳥栖市民体育センター)、11/28・29(唐津市・高齢者ふれあい館「りふれ」) シルバー人材センター受託福祉有償運送講習会予定

■佐賀県の福祉有償運送団体

平成 29 年 8 月 1 日時点で、32 団体となっています。県によっては実施する団体が増えているところもあります。県内でも地域によっては移動サービスを実施できるところが不足しています。社会貢献の一つ、サービスの一環として、是非参画下さい。福祉有償運送を実施したい団体様は相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

http://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji0031144/3_1144_25454_up_036enal5.pdf

(佐賀県HPより)

■佐賀県の国土交通大臣認定福祉有償運送講習団体

1 さが福祉移動サービス・ネットワーク（通常講習年間 4 回開催）

講習内容 福祉有償運送・セダン型講習

2 認定 NPO 法人市民生活支援センターふくしの家（臨時講習のみ）

上記、2 団体が認定を受けています。通常講習以外にご依頼がある場合は、ご相談ください。

.....

【書籍販売】

◆住民主体の生活支援サービスマニュアル 6 「移動・外出支援」

特定非営利活動法人全国移動サービス・ネットワーク 編 1,200 円

.....

～地域福祉推進拠点のネットワーク～

佐賀県地域共生ステーション連絡会

～移動自由な地域社会を目指して～

さが福祉移動サービス・ネットワーク

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3番20号（鍋島シエストハーモニービル3F）

認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家事務局内

TEL：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

メール：fukusinoie@world.ocn.ne.jp

佐地共連ホームページ <http://sachikyoren.com>

※メールアドレスが不明なところにはファックスにて送信しております。

※ファックス受信の事業所様は、お手数ですが、上記メールアドレスにご返信ください。

※このMMニュースは、関係行政機関にも配信しています。